

## 平成 23 年度地区懇談会(青葉地区)議事録(概要)

平成 23 年 10 月 20 日(木)市民活動センター 出席者数 28 人

### 事前質問:室蘭・登別大谷高等学校の統廃合に伴う登別高跡地(建物含め)対策について【担当:企画G】

回答:総務部長

- ・閉校の話があつてから、市と法人で情報交換してきた。具体的計画は法人側で検討中だが、在校生がいるため具体的な協議には至っていない。
- ・事務レベルでは、法人は登別大谷高校の校舎・施設・校地は売却し、統合先となる室蘭大谷高校の校舎改築資金に充当したいとの考えを持っているとのこと。また、売却が難しい場合は、校舎・施設とも室蘭大谷高校の附属施設として、部活動の利用に活用していきたいとの考えも聞いている。
- ・今後、法人側の具体案がまとまり次第、市に 12 月頃までに協議があるものと理解しているので、来年 3 月までには市の考えをまとめ、まちづくりの観点から積極的に意見を出していきたいと考えている。
- ・体育館と第 2 体育館の耐震性は、建設年度から問題はないと思われる。

意見:

- ・地域としては、閉校後、防犯上の管理がうまくいか不安。売れば一番良いが、分譲することは法的に可能か。市として何か踏み込んだものはないか。
- ・耐震性があれば、校舎をリフォームして市役所庁舎にと地域では考えていた。市長の考えは。

回答:総務部長

- ・市は、登別大谷高校の土地と建物の行く末を法人に指示することはできないが、まちづくりの観点から積極的に意見を出していきたい。法人もまず市に話をするとやっているし、乱開発の心配は無いと思う。
- ・ここは住宅地として開発できる土地であり、ライフラインや公園の話も出てくるかも知れない。

回答:市長

- ・この話題が風評となって、在校生に不安を与えたくない。話を進めたい気持ちはあるが、話は内々にしておきたい。
- ・閉校後は何らかの措置をしなければならないし、庁内でも検討している。住宅地にすれば人口が増えるが、体育館などを使い続けたいというスポーツ団体もいる。
- ・できれば年度内に会議の手法を決めようと法人側に提案していきたい。

### 事前質問:『総合防災センター』建設の考えはないのか【担当:消防本部総務G】

回答:消防長

- ・現在の消防本部と消防署庁舎は、昭和 38 年に建設されてから約 50 年経過し、老朽化が著しいことから平成 6 年に基本設計を行い、同 8 年に土地開発基金により緑町に用地を取得し、防災センター兼消防庁舎建設に向けて検討をしてきた。
- ・その後、クリンクルセンター・ネイチャーセンター・葬斎場・市民プールが建設されたが、消防庁舎の建設は先送りとなっており、随時補修を行い維持管理に努めているが、今後の消防機能のあり方を再検討し、消防庁舎の建設を推進していきたいと考えている。
- ・東日本大震災を教訓とした新たな考え方や視点から、防災機能が充実した防災センターの建設を視野に入れ、庁内で十分協議し、市民の皆さんのご理解とご協力をいただきながら、検討することも必要と考えている。

意見:

- ・検討した具体的なものはいつ頃出てくるか。いざというときに災害現場に行けるかが大事。当初計画の場所で良いのか、別の場所が良いのかも含め十分検討してほしい。

**事前質問:市内公共施設(老人憩の家・婦人研修の家他)の今後の維持管理と更新等について**

**〔担当:人事・行政管理G〕**

**回答:** 総務部長

- ・市は公共施設の効率的な運営や整備・配置の基本的な考え方として、「公共施設の整備方針」を定めている。この中で、集会所や老人憩の家、婦人研修の家などの集会施設についての方針は
  - ・利用度が低くかつ老朽化が著しい施設については、補修・修繕は行わず、順次廃止する。
  - ・利用度が高く、10年程度利用することが可能な施設については、既存施設の活用を図ることとし、一定の補修・修繕を行う。
  - ・利用度が高い施設であって老朽化が著しく、補修等が困難な施設については、一定の基準により中規模施設の整備を行う。中規模施設を新設した場合は、地域内の小規模施設は廃止する。
- ・老人憩の家や婦人研修の家など集会施設は、時代流れとともに本来の設置目的に沿った利用となくなってきたが、基本的には、できる限り長く使っていただくよう、優先順位を決めながら補修等を行っているのが現状。
- ・これからも、原則補修等による長寿命化を図っていきたいと考えているが、補修等による対応が困難となった場合は、例えば統廃合も必要と認識している。

**意見:**

- ・西川上町内会など計3町内会で老人憩の家と婦人研修の家を使っている。老人憩の家は日中、児童クラブとして使っているが、青葉児童館に統合することはあるか。
- ・市は、老人憩の家と婦人研修の家の実態を知っているか。施設は手狭であり、施設を統合して新設する考えはあるか。耐用年数だけではなく、3町内会で1施設を使用しているという事情も考慮してほしい。

**回答:** 保健福祉部長

- ・児童クラブは、利用者は少ないがニーズはある。国の補助で建てたため、児童館と合築できなかった。
- ・市としては、今後も老人憩の家を使用し、児童クラブを続けていきたい。

**回答:** 市長

- ・古い施設は今後毎年修理していくことになりかねない。3町内会のこともそろそろ考えないといけない。
- ・何年か時間をもらえたら、施設にどういう機能を持たせるか、町内会の皆さんと話をしていきたい。

**事前質問:津波の幌別川中州及び堤防に及ぼす影響と樹木伐採について〔担当:管理G〕**

**回答:** 都市整備部参与

- ・津波の被害を軽減させることであれば、また別の考え方が必要。大津波襲来の際には、海岸から直接市街地に水が入ってくる。川だけの対策では解決にならないと考える。
- ・中州や樹木の影響で河川の安全を心配する地域の皆さんの気持ちは認識している。一方、自然や景観との両立も必要。河川管理者の道から自然保護団体との仲介を依頼されている。団体からの意見集約も行った上で道に要望していきたい。
- ・道では、地域の皆さんに河川の草刈りや樹木の伐採を行っていただく『市民団体協働の川づくり事業』というのを設けている。今後、この内容を町内会の皆さんにもお知らせし、道に要望していきたい。

**意見:**

- ・自然保護団体は、中州が原因で100年に1回の被害が出るときに責任を取ってくれるのか。散策のために金をかける道が腹立たしい。
- ・河川付近も海岸付近と同様の災害対策が必要。中州は心配ないのか、専門家に検証してほしい。
- ・登別は雨に弱いまち。私は昭和36年の水害で家を流された。幌別ダムの耐用年数はどうなのか。

**回答:** 都市整備部参与

- ・津波が川に与える影響の有無は、道に聞いていく。

- ・幌別ダムは道企業局が管理している。治水目的のダムではないが、毎年土砂の堆積状況を測定するなど、適切な管理に努めているとのこと。

**回答：**市長

- ・道に聞いたことがあるが、ひび割れがあっても重力式なので地震がきても大丈夫とのこと。

**情報提供：道道中央通り上登別室蘭線改良工事に伴う進捗状況と今後の実施計画について〔担当：管理G〕**

**回答：**都市整備部参与

- ・工事の進捗状況と今後の実施計画は、10月6日、地元町内会の皆さんに対し、工事を行っている道から説明があった。平成24年度に用地買収終了、平成25年度中の工事完了を目指している。
- ・信号機や横断歩道の設置などについて、市や道から、公安委員会など関係機関に引き続き要望していく。

**意見：**

- ・総合体育館前から早川歯科前までの現道道が、市道に格下げされるとのこと。格下げされても交通量は減らないと思う。
- ・大雨で冠水する場所や歩道が狭い場所があるので、道にしっかり整備させた後、市道にしてほしい。早く拡幅箇所の交差点の信号機設置計画を出してほしい。

**回答：**都市整備部参与

- ・事業開始前から交差点の信号機の話はしている。市と道で公安委員会に要望していきたい。
- ・市道への移管は平成26年度になると思う。道に要望するが、全て要望どおりになるとは限らない。

**情報提供：地域とともに描くまちづくり**

**説明：**市長

- ・このペーパーでは、地区の課題として、青葉地区でこんな話があるだろうと考えここで示したが、各単位町内会の会長さんは、この他に話し合うことはないかを考えてほしい。
- ・平成25年4月から、消防はうまくいけば西胆振でひとつになる。消防庁舎の数、あるいは防災センターに係る議論も変わってくるかも知れない。
- ・12月末までに考えていただきたい。なければこの内容で1月以降話し合っていきたい。
- ・話し合いについては、担当者も来させて、市と皆さんと対等の立場で行いたい。

**地区連合町内会：**発言なし